

令和5年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	Design Lab WAKAMATSU	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学教育学部社会科教育コース2年
	ふりがな 氏名	せき たくと 関 拓人
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	信州大学教職支援センター准教授 荒井英治郎 先生

活動名	団体法人化による、デザイン作成活動の拡大
実施時期	令和5年5月～令和6年3月
実施場所	信州大学
活動内容	<p>【団体概要】</p> <p>Design Lab WAKAMATSU は 2022 年 9 月に「若松プロジェクト」から改名した、デザインからまちを彩っていく学生団体。前身の若松プロジェクトは 2021 年 11 月、松本城イルミネーションの若者向け SNS 広報を行うために設立された。その後、デザインや SNS マーケティングを行う「広報戦略チーム」としての活動を中心に展開。</p> <p>2022 年度はよりデザインに活動内容を特化させ、地域のお店の新商品のネーミング募集広報からラベルのデザインに至るまでのマーケティング戦略に挑戦したり、イオンモール松本と協働し、季節ごとのキャンペーンのホームページバナー制作を行ったりし、実践を通じた学びを積み重ねてきた。またより幅広い分野でデザインに関わる仕事を行い、学んでいきたいという思いを込め、「Design Lab WAKAMATSU」に名称を変更した。こうした背景を基に以下2つの活動を行う結果となった。</p> <p>【活動内容報告】</p> <p>1 イオンモール松本公式 HP のバナー作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 4月 新学期特集 ● 9月 秋商品・旬の食材キャンペーン「おいしい秋みつけた」 ● 10月 ハロウィーンキャンペーン ● 2月 バレンタインデーキャンペーン     <p>・ いづれもイオンモール松本公式 HP に一カ月近く掲載</p> <p>・ デザインについてはイオンモール松本の御担当者様と連携し何度か修正しながら作成を行った。</p> <p>・ 本補助金を活用し、illustrator や Canva の機能を活かしたデザイン作成を行った。</p>

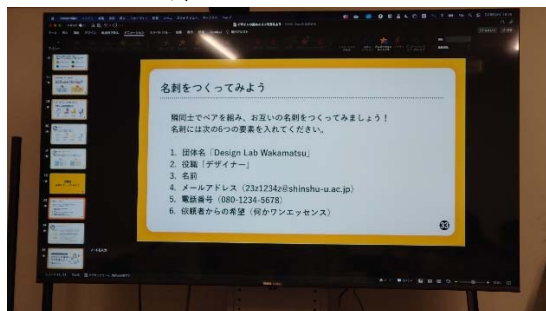
・頂いた案件ごとにメンバーがそれぞれデザインアイデアを持ち寄り、コンペ形式で話し合ったり、フィードバックをしあったりしながら、お互いを高め合えるような活動を行った。

2 | デザイン講座の開催

学生がデザインに関する知識を深め、その力を発揮し、さらに技術を磨いていく“研究所”になるべく、その入り口として、今年度は3回デザイン講座を実施した。デザイン講座は、当団体のメンバーに限らず、市民公開型を基本とし、デザイン力の向上に意欲がある誰しにも門戸が開かれた形式をとった。

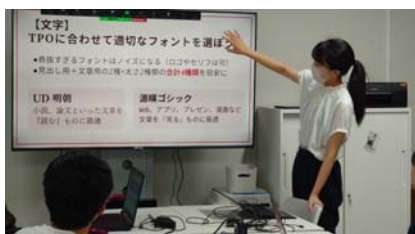
開催日時

- 7月6日 (Design Lab WAKAMATSU1 メンバーのみ)



Design Lab WAKAMATSU のメンバーと講師のお二人とでキックオフミーティング兼デザイン講座第一回を行った。はじめは講師からのレクチャーをうけて、ワークショップという流れで行ったが、その後のミーティングで「次回以降はみんなが先生役をやってみるのはどうか」と提案があり、その方向に変換。講師陣のスライドを参考にし、メンバーが次回以降のデザイン講座に向けて講義資料を作成した。

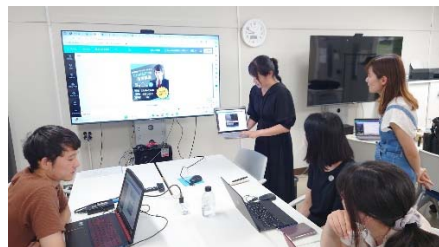
- 7月20日 (Canva 入門編)



大学1年生から4年生、そして松本市内に在住在勤されている社会人の方まで参加していただき、10名ほどの参加者をもって実施することができた。

内容としてはデザイン作成ツール「Canva」を用いて、その基本的な使い方やデザインをするときに心掛けた方が良いことなどをレクチャーした。そのレクチャーは外部からご協力いただいた先生方ではなく、あえてDesign Lab WAKAMATSUのメンバーで行うことで、学び合えるような雰囲気を創造できるよう工夫した。またメンバーにとってもインプットした内容を再言語化しアウトプットすることで大変学びになる時間を得ることができた。

- 8月10日 (Canva 発展編)



夏休み期間での実施にもかかわらず、前回参加者の約半数である7名が継続に参加していただいた。

	<p>引き続き Canva を用いて見やすい配色の公式や、著作権や肖像権といった注意すべきポイントなどをインプットした、 またワークショップとして、イベントのバナー作成を行った。参加者 7 名が一人一つ「生成 AI 活用セミナー」の広告バナー作成を行った。また一人ひとりどのような工夫をもって作成したかを言語化し、プレゼン。その後、講師からフィードバックをして頂いた。それぞれのデザインをレベルアップできるような中身の濃いセミナーを行うことができた。</p>
活動の成果と今後の課題	<p>①法人化について 補助金申請時にはより企業や公官庁とのやりとりを活発化させ、また持続可能な活動にしていくためにも法人化を目指す旨、提案していた。しかし新入生の新規加入が少ないことや、各メンバーの他活動の増加などにより、根本的な活動の発展を行うことができず、法人化を行うメリットを失ったため、法人化を断念した。 来年度は他団体と結合し、デザイン面において松本の魅力を向上させていけるような時間を作っていきたい。</p> <p>②デザイン活動について 昨年に引き続き、イオンモール松本における広告バナー作成を継続的に実施し、メンバー自身が定期的にデザインを実践し、トライアンドエラーを繰り返し、学びを深められたことは大きな成果と言える。またアルピコ交通の銀嶺祭用ポスター作製などでは illustrator を活用し、さらに本格的で実践的なデザイン活動を実施し、これからのキャリアに良い影響を与えられるような場を創造することができた、</p> <p>③デザイン講座に関して デザイン講座は直接的には補助金を活用する場面ではなかったが、ライセンス契約やデザイン作成に良い影響を与えてくれるような参考本を購入し、当団体に所属するメンバーだけでなく、デザインを学んでみたいと言う人にとって、かなり濃く、充実した学びの時間を創造することができたこと大きな成果であると言える。しかし地域に開かれたデザイン講座を目指していた反面、地域からの社会人参加者は 1 人という結果には深い反省が必要である。そもそも大学のキャンパス内でおこなったこと自体再考の余地が大いにある。会場を松本城近くのサザンガクや市役所などで行うなど、学生で無い人が参加することに抵抗を感じさせないような工夫をしていくべきであり、大きな課題であると感じる。</p>

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4 判 4 枚以内にまとめてください。活動内容だけでなく、活動団体の PR を行うことができる動画を添付することも可能です。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州の HP への掲載を予定しています。他人が写った写真等を許可なく使用しないなど、著作権や肖像権に配慮してください。

※申請内容から変更があった場合は、経緯を記入してください。

※本様式のほか、活動内容や成果についての報告動画を併せて作成して提出してください。